

【格付け維持】 水資源機構

発行体格付け： AA+ [格付けの方向性：安定的]

格付投資情報センター(R&I)は上記の格付けを公表しました。

【格付け維持の理由】

国の基本計画に従って利根川などの7つの水系でダム、用水路などの施設を建設・管理する独立行政法人。国民の生命に直結する治水、利水事業を行っており、政策上の重要性は非常に高い。建設費用は国と利水者で分担し、建設完了後、利水者分担分の建設費用を割賦負担金という形で回収している。利水者のほとんどは地方自治体であり、回収に伴うリスクは極めて小さい。金利変動リスクへの備えもできている。ダムや用水路の建設は多くの自治体や省庁が関係し、その調整が難しいうえ、巨額な資金を必要とし、自治体や民間による事業の代替は困難と言える。ただ、建設事業は2015年度に終了する予定で、徐々に管理主体の法人に移行していくことになる。管理主体の法人に移行後も政府の支援姿勢に変化はないと見ているが、独立行政法人全般の見直し論議などもあり、政府との関係は引き続き慎重に見守っていく。格付けの方向性は安定的。

【格付け対象】

発行者：水資源機構

名称	格付け	格付けの方向性		
発行体格付け	AA+ (維持)	安定的		
名称	発行総額 (百万円)	発行日	償還日	格付け
第1回水資源開発債券	10,000	2001年12月3日	2011年9月20日	AA+ (維持)
第2回水資源開発債券	13,000	2002年6月24日	2012年6月20日	AA+ (維持)
第3回水資源開発債券	13,000	2003年7月1日	2013年6月20日	AA+ (維持)
第1回水資源債券	15,000	2004年11月19日	2014年9月19日	AA+ (維持)
第2回水資源債券	5,000	2005年10月27日	2009年12月18日	AA+ (維持)
第3回水資源債券	10,000	2005年10月27日	2015年9月18日	AA+ (維持)
第4回水資源債券	11,000	2006年11月9日	2009年12月18日	AA+ (維持)
第5回水資源債券	15,000	2007年11月6日	2010年12月17日	AA+ (維持)

☆発行体格付けとは、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力に対するR&Iの意見で、原則としてすべての発行体に付与する。個々の債務(債券やローンなど)の格付けは、契約の内容や回収の可能性などを反映し、発行体格付けを下回る、または上回ることもある。